

各 位

平成 1 9 年 6 月 6 日

株式会社 東京証券取引所

「平成 1 9 年 3 月期 東証総合取引参加者 決算概況」

《 項 目 》

総 括	1 頁
総合取引参加者集計表	2 頁
(参考) 売買高等の状況	3 頁

【本件についての問合せ先】

審査部 (総務・企画グループ) (電話) 0 3 - 3 6 6 5 - 1 2 6 3

平成 19 年 3 月期 東証総合取引参加者 決算概況

株式会社 東京証券取引所
審査部 総務・企画グループ

東京証券取引所総合取引参加者の平成 19 年 3 月期決算は、経常損益ベースで 110 社中 90 社が、当期純損益ベースにおいても 110 社中 84 社が黒字を計上しました。

当期の株式市場においては、期を通じて外国人投資家による売買が活発に行なわれ売買代金の合計額（全社合算数値。以下同じ。）は前年度を上回る状況となりました。しかしその一方で、個人投資家による売買が前年を下回ったこと等から委託手数料収入は減少し、受入手数料全体でも減収となりました。また、トレーディング損益についても株券等トレーディング損益を中心に前期を下回る状況となり、これらの結果、経常利益は前期比 59%と減益、特別損益、法人税等を加味した当期純利益も前期比 50%で減益となりました。

受入手数料

受入手数料は 2 兆 7,971 億円となり、前期と比較して 8%の減少となりました。

今期の総合取引参加者における株券受託売買代金合計額は、982 兆円と前期を 11%上回る状況となりましたが、その売買増加の中心は取引に係る手数料率が一般的に低い外国人投資家によるものであり、その他の個人投資家による売買は減少したこと等から、委託手数料は 9,876 億円と前期比 27%減の減収となりました。その一方で、受益証券に係る手数料収入の増加により募集・売出しの取扱い手数料は増収（前期比 16%増）となり、その他の受入手数料についても投資信託の代行手数料等が増加したことから増収（前期比 8%増）となっています。

トレーディング損益

トレーディング損益は 8,215 億円となり前期と比較して 23%の減少となりました。

前期、堅調な株式市況を背景に好調であった株券等トレーディング損益は、当期はその前期を 52%下回る減収となった他、債券等トレーディング損益が増収となる一方で為替関連の損益を含むその他のトレーディング損益が前期を 22%下回る状況となりました。

純営業収益

営業収益から金融費用を引いた純営業収益は、金融収益が有価証券貸借取引収益を中心に増収となりましたが、受入手数料及びトレーディング損益の減収や金融費用の増加を受け、3兆8,270 億円と前期を 11%下回りました。

営業損益、経常損益、当期純損益

収益の減少に加え、販売費・一般管理費においても前期から 9%増加の 2兆8,252 億円となったことから、営業損益は 1兆18 億円（黒字）と前期比 41%減の減益、経常損益についても 1兆175 億円（黒字）と前期比 41%減の減益となりました。また、特別損益は証券取引責任準備金の繰入れや固定資産の除却損等の計上等により 501 億円の損失計上となっています。

その結果、好調であった前期との比較では減益となっている会社が目立ち、合算の当期純損益においても 5,790 億円（黒字）と前期比 50%減の減益となりました。

総合取引参加者集計表

(単位:百万円)

項目	区分 期	全総合取引参加者(110社)		
		H19.3(a)	H18.3(b)	(a)/(b)
受入手数料		2,797,143	3,045,184	92%
委託手数料		987,622	1,346,941	73%
(株券委託手数料)		964,524	1,318,793	73%
(債券委託手数料)		10,252	9,153	112%
(受益証券委託手数料)		12,265	17,172	71%
引受け・売出し手数料		214,388	246,943	87%
募集・売出しの取扱手数料		400,042	344,387	116%
その他の受入手数料		1,194,946	1,106,778	108%
トレーディング損益		821,560	1,067,575	77%
株券等トレーディング損益		246,985	515,883	48%
債券等トレーディング損益		380,146	302,680	126%
その他のトレーディング損益		194,384	248,979	78%
金融収益		828,621	610,263	136%
信用取引収益		118,911	108,234	110%
有価証券貸借取引収益		353,956	236,661	150%
受取配当金		113,621	94,050	121%
受取債券利子		80,268	52,049	154%
受取利息		103,139	94,279	109%
営業収益		4,457,603	4,731,421	94%
金融費用		630,482	428,343	147%
信用取引費用		29,582	30,620	97%
現先取引費用		226,250	200,351	113%
有価証券貸借取引費用		201,436	127,820	158%
支払利息		149,043	53,078	281%
純営業収益		3,827,064	4,303,033	89%
販売費・一般管理費		2,825,201	2,592,832	109%
取引関係費		550,670	514,335	107%
人件費		1,311,480	1,254,597	105%
不動産関係費		278,953	251,813	111%
事務費		345,038	304,506	113%
減価償却費		129,396	79,968	162%
租税公課		35,547	37,824	94%
営業損益		1,001,828	1,710,151	59%
営業外損益		15,701	16,092	98%
経常損益		1,017,528	1,726,256	59%
特別損益		50,197	144,421	
税引前当期純損益		967,363	1,870,674	52%
法人税等		417,389	824,976	51%
法人税等調整額		29,127	101,860	
当期純損益		579,049	1,147,545	50%
経常損益黒字会社数 / 全社数		90 / 110	103 / 107	
当期純損益黒字会社数 / 全社数		84 / 110	102 / 107	

(注1)損益計算書の各数値は、総合取引参加者全社合算数値。

(注2)算定対象は、平成19年3月末日現在で東証総合取引参加者であった証券会社。

(注3)単位未満の数値は切り捨てている。

(注4)外国証券会社については本邦支店の数値を採用している。

(注5)平成17年4月1日以降に合併等を行った総合取引参加者の数値については合算修正処理をしている。

(注6)上記修正処理は、中間、本決算期末以外の期中合併等の場合については行っていない。

(参考) 売買高等の状況

(1) 株券関係

項目		期		
		H19.3期(a)	H18.3期(b)	(a)/(b)
東証1日平均売買高		2,060百万株	2,392百万株	86%
東証1日平均売買代金		27,571億 円	24,044億 円	115%
総 売 買 高		1,125,629百万株	1,333,260百万株	84%
総 売 買 代 金		15,071,657億 円	13,268,818億 円	114%
受 託 売 買 高		760,228百万株	926,768百万株	82%
受 託 売 買 代 金		9,822,250億 円	8,859,972億 円	111%
受 託 比 率		65%	67%	
受託のうち信用取引売買高		169,466百万株	236,966百万株	72%
受託のうち信用取引売買代金		1,776,824億 円	1,863,210億 円	95%
受託のうち信用取引比率		18%	21%	
1株当たり受託売買代金		1,292 円	956 円	135%
株券現物委託手数料		9,292億 円	12,873億 円	72%
株券委託手数料率		0.09%	0.15%	

(注) 受託比率 = 受託売買代金 ÷ 総売買代金

株券委託手数料率 = 株券現物委託手数料 ÷ 受託売買代金

(2) 引受関係

項目		期		
		H19.3期(a)	H18.3期(b)	(a)/(b)
引 受 高	株 券	50,427億 円	47,813億 円	105%
	債 券	417,929億 円	558,779億 円	75%
募 集 ・ 売 出 し の 取 扱 高	株 券	66,840億 円	71,518億 円	93%
	債 券	242,514億 円	340,810億 円	71%
	受 益 証 券	754,676億 円	799,498億 円	94%